

YAMATAKA FOODS



取扱商品の一例：いかの姿フライ

- 本社所在地：愛知県名古屋市中村区
- 事業概要：珍味や米菓・豆ナッツ類など菓子類の卸売事業
- 常時使用する従業員：51名
(グループ全体：2026年1月時点)
- 現在の売上高：61億円
(グループ全体：2025年9月期)
- 法人番号：5180001033241
- Web：なし

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
矢野 高保

伝統と革新を融合させた商品で、世界の食文化発展に貢献！

弊社は1987年の創業以来、「美味しさ・安全・信頼」を柱に、厳選された食材を使用し、素材の旨味を活かしたお菓子づくりを行っています。また、グループ企業においては、名古屋市の「食品衛生自主管理認定制度（HACCP）」に基づく衛生管理や品質管理を徹底し、安心して安全な製造ラインを構築しています。このたび100億企業に向けて、消費者がワクワクする商品の開発を、多様な人材による自由な発想で推進することにより、ブランド価値を高めるとともに世界の食文化の発展に貢献していきます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

日本で製造する高品質でユニークな食感の駄菓子が国内外から注目を浴びるなか、革新的な生産・物流体制を構築することで売上高の飛躍的増加を目指す。

具体的には、グループの売上高を2030年に100億円達成、さらに2033年に150億円達成に向けて、国内向けを年12%程度、海外向けを30%程度の成長を目指す。

課題

1. EC(通信販売)市場拡大における物流効率化の体制構築
 - ・在庫の一元化による機会損失の削減
 - ・配送効率向上による販売機会の拡大
 - ・物流コストの圧縮と高品質なサービス提供
2. デジタル技術を搭載した省力化設備の導入
3. 商社を介さない直接取引による海外販路の構築

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

高品質でユニークな食感のお菓子が国内外から注目を浴びるなか、①自由な発想を商品化できる社内開発体制、②販売機会を逃さないための海外向け販路、③サプライチェーンの一元化が成長手段となる。また、生産年齢人口が減少する中、デジタル技術を搭載した設備等で省力化を図ることも成長手段となる。

実施体制

自社ブランド商品の開発や海外向け販路の構築、さらにサプライチェーンの一元化に向けて、以下の体制を構築する。

1. 物流センターにおける物流統括管理者の育成
2. 人手不足解消や品質安定化に向けたデジタル技術の導入
3. 越境EC企業との販売パートナーシップ構築及び買収
4. 増産に対応すべく製造受託会社(OEM)との連携及び買収
5. 外国人労働者や女性(主婦等)といった多様な人材の登用

売上高100億円実現の目標

株式会社ヤマタカフーズ
【珍味・米菓・豆ナッツ類など菓子類の卸売事業】

株式会社
山高
【比較的小規模な
小売店向け菓子類
の卸売】

株式会社
サンコー
【国内向け菓子類の
包装加工(手動ライ
ン+自動機)】

有限会社
ファーストジャパン
【海外に委託製造し
た菓子類の輸入】

株式会社
パーフェクトジャパン
【他社菓子類の海外向け
間接輸出、国内向け菓子
類の包装加工(自動機)】

三都屋商事
株式会社
【国内向け菓子
類の包装加工
(手動ライン)】

有限会社
パーフェク
トジャパン
【未稼働】

株式会社
ファースト
ジャパン
【未稼働】

株式会社
三都屋
【未稼働】



株式会社ヤマタカフーズは、珍味・米菓・豆ナッツ類など菓子類の卸売販売をおこなう事業者です。社会的問題であるフードロスの削減に向けて、食品メーカーから調達した「割れ、折れ」等の規格外製品を、グループ内の製造子会社で商品化したのち、ディスカウントショップ等の小売店に販売しています。

近年は、自社ブランド商品の開発や海外販路の構築に注力しており、今後は国内外への販路拡大を通して、2030年のグループ売上100億円を目指してまいります。

法人番号 5180001033241（株式会社ヤマタカフーズ）、6180001033232（株式会社山高）、3180001042368（株式会社サンコー）、2180002028854（有限会社ファーストジャパン）、8180001124392（株式会社パーフェクトジャパン）、3180001032930（三都屋商事株式会社）、7180002058871（有限会社パーフェクトジャパン）、9180001152392（株式会社ファーストジャパン）、9180001164529（株式会社三都屋）